学校番号	414

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	『詳説世界史』（山川出版社）						
副教材等	『詳説世界史授業用整理ノート』（山川出版社）『アカデミア世界史』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ワーク・問題集の予習をおこないましょう。
・歴史に関して様々な視点（異なる立場からの考え方等）を持てるように、また自分の言葉で授業の内容をまとめられるようにしましょう。
・世界の諸課題からうまれた歴史的背景を理解し、歴史が今に影響を与えていることを理解しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、考察したり、効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される歴史に対する視点から、相互に依存する世界で、異なる文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される歴史に対する視点から、相互に依存する世界で、異なる文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	諸地域の歴史的特質の形成と交流	1 文明の成立と古代文明 2 中央ユーラシアと東アジア世界 3 世界南アジア世界と東南アジア世界の成立 4 西アジアと地中海周辺の国家形成	a: 先史の時代を経て古代オリエント文明や秦・漢帝国、古代インド文明の成立過程について理解できている。古代ギリシアやローマ帝国の発展に伴うキリスト教の成立や伝播についても説明できる技能がある。 b: インド古典文明やイラン地域の諸文明の成立、なかでも仏教などの成立について多面的・多角的に考察し、表現できている。 c: 古文書や図や写真等諸資料を活用し、その背景や意味するところを追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 記述課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 記述課題
	諸地域の交流と再編	5 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 6 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 7 ヨーロッパ世界の変容と展開 8 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	a:イスラーム教やイスラーム政権の成立などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能が身に付いている。世界の交流のなかでモンゴル帝国の果たした役割についても理解できている。 b:西ヨーロッパ封建社会の展開や中世文化、イスラームとの関連において生じた政治や社会の変容について考察し、問いを表現できている。 c:ユーラシア大陸の歴史地図をはじめ諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 記述課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 記述課題
二学期	諸地域の再編と結合	1 大交易・大交流の時代 2 アジアの諸帝国の繁栄 3 近世ヨーロッパ世界の動向	a:いわゆる大航海時代の到来までのヨーロッパ世界の流れとアジア交易世界の成立について理解できている。オスマン帝国をはじめとするアジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ世界との対立や交流について理解できている。啓蒙思想についても説明できる。 b:ルネサンスや宗教改革がもたらした世界の変容やヨーロッパ主権国家の成立について考察し、問いを表現できている。 c:大航海時代の世界地図をはじめ諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 記述課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 記述課題

	諸地域の結合と変容	4 産業革命と環大西洋革命 5 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 6 アジア諸地域の動揺 7 帝国主義とアジアの民族運動 8 第一次世界大戦と世界の変容	a:産業革命がもたらした世界や社会の変容とアメリカ合衆国の独立革命やフランス革命をはじめとする市民革命の定義や成立について理解できている。第二次産業革命の起こりからヨーロッパ列強による世界分割、ひいては第一次世界大戦までの流れが体系的に理解できている。 b:ルネサンスや宗教改革がもたらした世界の変容やヨーロッパ主権国家の成立について考察し、問いを表現できている。 c:とくにルネサンスや文化活動の項では写真による諸資料を活用し、文化遺産の意味するところやその背景を調べる活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト 定期考査	発問評価 記述課題 ペアワーク 定期考査	授業態度 発問評価 記述課題
三学期	諸地域の変容と課題	1 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2 冷戦と第三世界の台頭 3 冷戦の終結と今日の世界	a:世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊から第二次世界大戦の勃発と終焉まで、とくに経済的・政治的側面から理解できている。冷戦の展開が世界にもたらした変容と第三世界の台頭について、キューバ危機などの歴史的事件を含みながら理解できている。 b:冷戦の終結から現代の世界が抱える諸課題について考察し、問いを表現できている。 c:20 世紀の文化をはじめ、現代文明の諸相について諸資料を活用し、文化遺産の意味するとろや背景を調べる活動に主体的に取り組めている。	発問評価 小テスト	発問評価 記述課題 ペアワーク	授業態度 発問評価 記述課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度